

特別展

大境洞窟・朝日貝塚100年



平成30年**10月19日**(金)～**11月11日**(日)

氷見市立博物館 特別展示室 午前9時～午後5時

休館日 10月22日(月)・10月29日(月)・11月5日(月)

資料解説会 10月20日(土) 午後3時から〈申込不要〉

観覧
無料

史跡がつたえる氷見

今年は大正7年(1918)の大境洞窟住居跡と朝日貝塚の発見から100年、また平成10年(1998)の柳田布尾山古墳の発見から20年の節目の年になります。

これらの遺跡は発見後に発掘調査が行われ、その成果をもとに大境洞窟住居跡と朝日貝塚は大正11年に、柳田布尾山古墳は平成13年に国指定史跡になりました。

三つの史跡は、“海辺の洞窟”、“日本海側有数の貝塚”、“台地上の大きな古墳”とそれぞれの持ち味があり、歴史学習や憩いの場として広く利用されていますが、特に前二者が大正時代に史跡指定を受けたことは、身近にある文化財に私たちがいち早く気づき、地域の豊かな歴史に目を向けるきっかけになったのではないのでしょうか。

特別展では、これら史跡の発見や調査の経緯をふりかえるとともに、全国的にも注目される代表的な出土資料を紹介します。



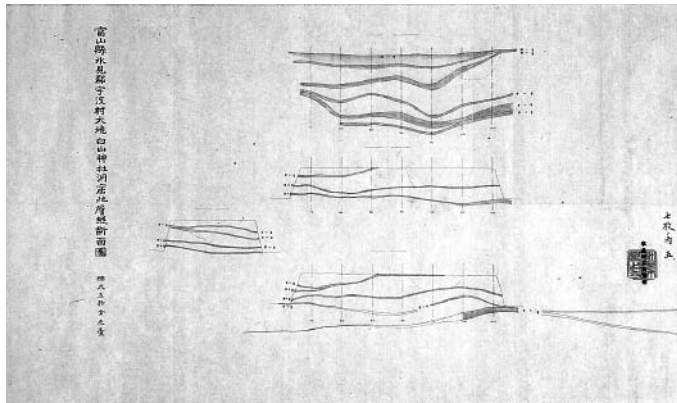
朝日貝塚出土縄文土器深鉢
(東京大学総合研究博物館蔵)



大境洞窟住居跡出土弥生土器高杯
(東京大学総合研究博物館蔵)



大境洞窟住居跡出土骨角器 (東京大学総合研究博物館蔵)



大正7年大境洞窟測量実測図 (本館蔵)



柳田布尾山古墳空中写真

表背景上：史跡指定直後の大境洞窟住居跡

表右上カット：大境洞窟住居跡出土弥生土器高杯 (東京大学総合研究博物館蔵)

表背景下：大正13年朝日貝塚発掘調査の様子 (昭和8年誓度寺発行絵はがき)

表左下カット：朝日貝塚出土縄文土器深鉢 (東京大学総合研究博物館蔵)

氷見市立博物館

〒935-0016 富山県氷見市本町4番9号 TEL 0766-74-8231
FAX 0766-30-7188

E-mail: hakubutsukan@city.himi.lg.jp

U R L: <http://www2.city.himi.toyama.jp/museum/>

●交通機関

鉄道/JR氷見線氷見駅下車、北西へ500m徒歩7分。

バス/高岡駅から加越能交通バス氷見方面行、「氷見市民会館前」下車、徒歩1分

自動車/能越自動車道氷見インターから東に3km。

●氷見市立博物館は氷見市民会館に隣接する、氷見市教育文化センター内にあります。

